

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年10月30日 (2008.10.30)

【公開番号】特開2002-202755(P2002-202755A)

【公開日】平成14年7月19日 (2002.7.19)

【出願番号】特願2001-298724(P2001-298724)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 5 B 33/08 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

G 0 9 G 3/20 6 3 1 H

G 0 9 G 3/20 6 4 1 E

G 0 9 G 3/20 6 4 1 R

H 0 5 B 33/08

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月16日 (2008.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

EL 素子と、メモリーと、第 1 の T F T と、第 2 の T F T と、第 3 の T F T と、を画素に有する自発光装置であって、

前記第 1 の T F T における、ゲートは第 1 のゲート信号線と、ソースまたはドレインの一方はソース信号線と、ソースまたはドレインの他方は前記第 3 の T F T のゲートと電氣的に接続され、

前記第 2 の T F T における、ゲートは第 2 のゲート信号線と、ソースまたはドレインの一方は前記第 3 の T F T のゲートと、ソースまたはドレインの他方は前記メモリーと電氣的に接続され、

前記第 3 の T F T における、ソースまたはドレインの一方は第 1 の電源と、ソースまたはドレインの他方は前記 EL 素子と電氣的に接続されていることを特徴とする自発光装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記メモリーは、第 1 の p チャネル型 T F T と、第 2 の p チャネル型 T F T と、第 3 の p チャネル型 T F T と、第 1 の n チャネル型 T F T と、第 2 の n チャネル型 T F T と、第 3 の n チャネル型 T F T と、を有し、

前記第 1 の p チャンネル型 T F T における、ゲートは前記第 1 のゲート信号線と、ソースまたはドレインの一方は前記第 2 の p チャンネル型 T F T のソースまたはドレインの一方と、ソースまたはドレインの他方は第 1 の電源線と電氣的に接続され、

前記第 2 の p チャンネル型 T F T における、ゲートは前記第 1 の n チャンネル型 T F T のゲートと、ソースまたはドレインの他方は前記第 1 の n チャンネル型 T F T のソースまたはドレインの一方と電氣的に接続され、

前記第 3 の p チャンネル型 T F T における、ゲートは前記第 3 の n チャンネル型 T F T のゲートと、ソースまたはドレインの一方は前記第 3 の n チャンネル型 T F T のソースまたはドレインの一方と、ソースまたはドレインの他方は前記第 1 の電源線と電氣的に接続され、

前記第 1 の n チャンネル型 T F T における、ソースまたはドレインの他方は前記第 2 の n チャンネル型 T F T のソースまたはドレインの一方と電氣的に接続され、

前記第 2 の n チャンネル型 T F T における、ゲートは隣接する画素の第 2 のゲート信号線と、ソースまたはドレインの他方は第 2 の電源線と電氣的に接続され、

前記第 3 の n チャンネル型 T F T における、ソースまたはドレインの他方は前記第 2 の電源線と電氣的に接続されていることを特徴とする自発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、

前記メモリーは、第 1 の p チャンネル型 T F T と、第 2 の p チャンネル型 T F T と、第 1 の n チャンネル型 T F T と、第 2 の n チャンネル型 T F T と、を有し、

前記第 1 の p チャンネル型 T F T における、ゲートは前記第 1 の n チャンネル型 T F T のゲートと、ソースまたはドレインの一方は第 1 の電源線と、ソースまたはドレインの他方は前記第 1 の n チャンネル型 T F T のソースまたはドレインの一方と電氣的に接続され、

前記第 2 の p チャンネル型 T F T における、ゲートは前記第 2 の n チャンネル型 T F T のゲートと、ソースまたはドレインの一方は前記第 1 の電源線と、ソースまたはドレインの他方は前記第 2 の n チャンネル型 T F T のソースまたはドレインの一方と電氣的に接続され、

前記第 1 の n チャンネル型 T F T における、ソースまたはドレインの他方は第 2 の電源線と電氣的に接続され、

前記第 2 の n チャンネル型 T F T における、ソースまたはドレインの他方は前記第 2 の電源線と電氣的に接続されていることを特徴とする自発光装置。

【請求項 4】

1 フレーム期間に複数のサブフレーム期間が設けられ、

前記複数のサブフレーム期間のうち、少なくとも 1 つは複数の分割サブフレーム期間からなり、

前記複数の分割サブフレーム期間は、連続して出現しないことを特徴とする自発光装置の駆動方法。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記複数の分割サブフレーム期間の少なくとも 1 つにおいて、メモリーにデジタルビデオ信号が書き込まれることを特徴とする自発光装置の駆動方法。